

中国・韓国語の特許文献を 日本語で検索可能なシステムのご紹介

特許庁

櫻井 健太¹、立花 啓²、上田 泰³、磯部 洋一郎⁴、金子 秀彦⁵

1. 背景

近年、世界の特許文献において、日本語以外の言語で記載された外国特許文献の割合が増加しています。特に、中国・韓国語の特許文献については、出願件数の急激な増加により、中国・韓国語でしか読むことのできない特許文献が、世界の特許文献の約6割を占めるに至っています。このような状況の中、我が国企業等の研究開発を推進するため、これらの特許文献を検索できる環境の整備が求められています。

＜世界の特許文献＞

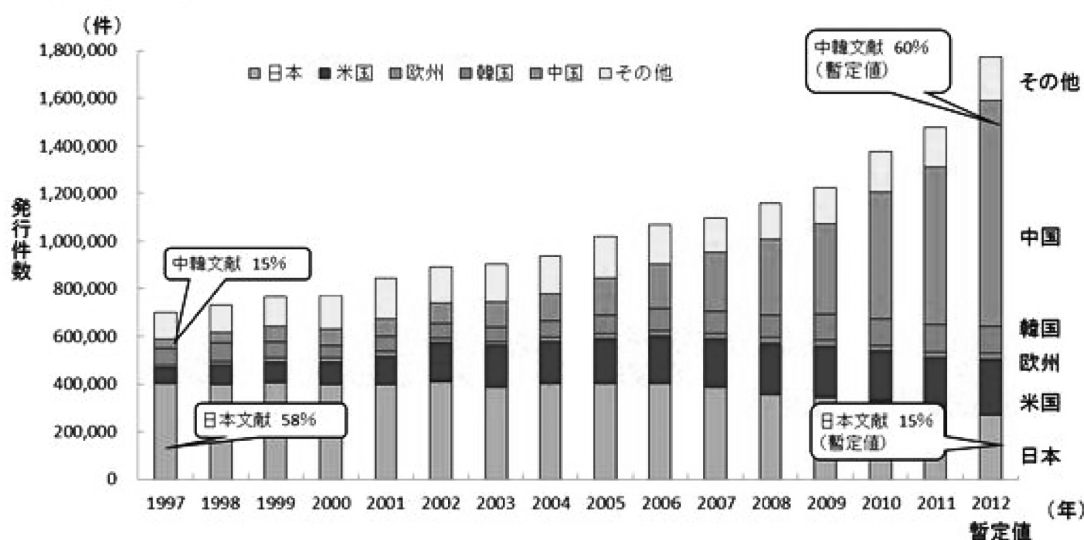


図1：世界の特許文献

(備考) 世界で発行された特許文献を言語別に整理し、重複を排除したもの。日本語、米国（英語）、欧州（英語、仏語、独語）、韓国（韓国語）、中国（中国語）の順で該当する国・地域（言語）の特許文献としてカウント。

- 1 櫻井 健太：総務部総務課情報技術統括室
- 2 立花 啓：審査第二部動力機械
- 3 上田 泰：総務部総務課情報技術統括室
- 4 磯部洋一郎：審査第三部医療
- 5 金子 秀彦：審査第四部伝送システム